

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (67)

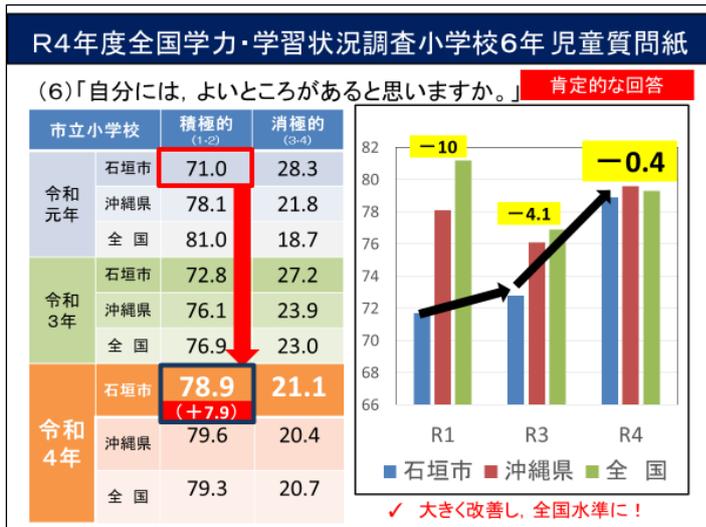


～ 「勇気づけの教育」のふりかえり ～

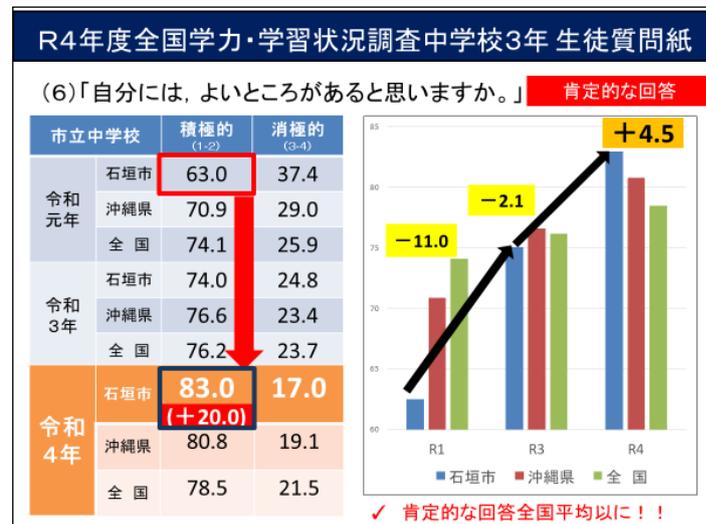
石垣市教育委員会 学校教育課長 前三盛 敦

石垣市教育委員会では、『本市の子ども達の将来が、生まれ育った環境に左右されることなく、一人の人間として尊重され、自分のよさや可能性を広げる学校づくりをめざす』ことを基本理念とし、子ども達の自己肯定感を高めるための取り組み「勇気づけの教育」を令和2年度より推進しています。

これまで、子どもの自己肯定感を高める教師の関わり方の視点を示したリーフレットを作成し、全教諭に配布するとともに各研修会等で周知してまいりました。また、教師だけでなく、子ども達に関わる保護者、市民の皆様にも理解していただけるように新聞投稿により、子ども達の関わり方や自己実現するための支援のヒントを発信しています。「勇気づけの教育」リーフレットとこれまでの66回分の新聞投稿の記事は、石垣市教育委員会ホームページにアップしてありますので、機会のあるときにはご覧になって下さい。



今回は、令和4年度のまとめとして、取り組んできた児童生徒の「自己肯定感の高まり」について報告致します。推進以前の令和元年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙において、自己肯定感に関わる質問項目「自分によいところはあると思いますか」の問いに「そう思う」と答えた小学校6年生は、71%。全国との差は-10%でした。中学校3年生は63%で、全国との差は-11%でした。



令和4年度と同調査では、「自分によいところがある」と答えた小学6年生は78.9%で、令和元年度より7.9%伸び、全国との差はわずか0.4%までと迫っています。中学3年生は83.0%で、令和元年度と比べると20%も伸び、全国との差は+4.5と本市が全国を上回る結果となっています。

これは、私たち教育委員会も驚くほどの成果で、教師をはじめ市民の皆様幅広く子ども達の関わり方を伝えることで、子ども達を認め、励まし勇気づける大人

の意識が大きく変容してきた結果であり、市民の皆様の教育に対する関心の高さと実践力のおかげだと心より感謝しています。

しかし、喜んでばかりもいられません。子ども達を勇気づける力や環境は、このように高まってきましたが、子ども達の確かな自己肯定感や真の自信を育むためには、子ども達一人一人の成功体験の積み重ねが何より大切だと考えています。

現在、石垣市教育委員会では、学び方を身につけ、自分で様々な課題を解決していく力を身につける「自律した学習者の育成」に取り組んでいます。「自律した学習者」とは、単元テストや定期テスト等から、自分で自己の学習状況を把握し、自分の課題から学習計画を立て、教科書や問題集、A Iドリル等の様々な学習教材を自分に合った学習方法で活用し、自ら学ぶことのできる学習者のことです。その学習方法を繰り返しながら、学習目標に向かってらせん階段のようにステップアップしていく学習者の育成を目指します。

皆様、石垣市教育委員会では、これからも児童生徒の「自己肯定感の高まり」や「自律した学習者の育成」の取り組みを推進していきますので、共に子ども達を支援していただきますようお願いいたします。